

アテムコボンド 657

アテムコ社が開発した「アテムコボンド 657」は、エポキシ系で、鋳鋼や鋼への色付け又は粉末塗装の前作業のピンホールや欠損箇所の補修、充填に対してパテの様に用いられます。

特 性

「アテムコボンド 657」はステンレススチールの微粉末を充填したベース剤Bと硬化剤Aを混合重量比1：1で使用するエポキシ接着剤です。硬めのペースト状なので、鋳物や、シートメタルなどのピンホール、クラック又他の欠損箇所への充填に最適です。

耐熱上限は連続で204℃です。この温度範囲は粉末塗装の焼成範囲でもありますから、非常に重要です。

硬化後の引っ張りせん断強度は、2,500psiです。ほとんどの酸、アルカリ、塩及び有機溶剤に耐性があります。

「アテムコボンド 657」は発電機器、化学品の生産工程、オイル精製、鋁山業などで使用されている大型金属機器部品等の補修にも役立っています。

用い方

「アテムコボンド 657」は混合重量比1：1でよく練り合わせ、塗布した後、93℃で2時間焼成するか、常温で24～48時間放置すれば硬化します。冬場は粘度が高くなり混ぜにくくなるので、30～40℃程度に温めてから使用します。

荷 姿

1パイント（約500ml）と1クオート（約1リットル）の缶入り。

他に50ml入カートリッジもあります。



写真は鋳鉄マニフォールドの補修